

科目名	文化人類学 (Cultural Anthropology)			科目コード	112
開講学科	看護学科・臨床検査学科	選択区分	選択	単位数 (時間)	2 単位 (30時間)
科目区分	共通教育科目	履修時期	1 年次後期	関連DP	看①⑤、臨①⑤
担当教員	森 日出樹*				
授業概要	第1部では、「交換」をキーワードにして、動物にはない人間独自の文化・社会・制度について考える。第2部では、人間の思考（言語）の構造から、ジェンダーの問題、儀礼等について考察する。また、第3部では、医療人類学を紹介し、「病」や「いのち」の問題を考える。				
授業目標	1. 文化人類学の視点から、人間の文化や社会を理解することができる。 2. 医療人類学の基本的な考え方を修得し、そうした視点から医療の現場を考察することができる。				

授業計画

回	項目	内容
1	はじめに	文化人類学とは
2	婚姻制度（家族）の誕生①	インセスト・タブーの謎を解く
3	婚姻制度（家族）の誕生②	女性の交換としての婚姻制度
4	人間の経済活動①	モノの交換について―「買い物」と「贈与」
5	人間の経済活動②	交換の違いがもたらす社会の違いについて考える
6	分かち合い、助け合う人間	人類が進化の過程で身につけた人間特有の行動について考える
7	言語と思考について①	認識の枠組みを提供するものとしての言語について考える
8	言語と思考について②	二項対立の思考
9	ジェンダーの文化人類学	「女」と「男」の性差と文化（社会）
10	信仰と儀礼①	信仰の対象となるものについての考察
11	信仰と儀礼②	儀礼・祝祭の時間・空間について考える
12	医療人類学①	医療人類学入門
13	医療人類学②	伝統的医療と近代的医療
14	医療人類学③	「病」と文化、「いのち」と文化
15	医療人類学④	現代の医療の現場について考える
成績評価方法		授業に対する取り組みの積極性 20%、ミニレポート 50% (25%×2 回) 最終レポート 30%
教科書		使用しない。
参考図書等		授業中随時紹介する。
授業時間外の学習について		3 回レポート提出があるので、各レポートのテーマに関して調べまとめる。毎週 1 時間程度の学習が必要である。
関連科目		108 社会学 110 哲学
備考		